

(別紙2-1)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年 3月18日

### 【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4271200703		
法人名	有限会社 いこいの里		
事業所名	グループホームいこいの里		
所在地	〒859-3619 長崎県東彼杵郡川棚町新谷郷 2040-15		
自己評価作成日	平成24年12月20日	評価結果市町受理日	平成25年3月29日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/42/index.nhp?action_kouhyou_detail_2010_022_kan=true&amp;ligosyoCd=4271200703-00&amp;PrefCd=42&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/42/index.nhp?action_kouhyou_detail_2010_022_kan=true&amp;ligosyoCd=4271200703-00&amp;PrefCd=42&amp;VersionCd=022</a>
--------------	---

### 【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ
所在地	〒840-0015 佐賀県佐賀市木原二丁目6番5
訪問調査日	平成25年1月24日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

- ・ 入居者と職員がゆっくりすごしたり、会話をしている時間を作っている
- ・ 天気の良い日には、散歩やドライブ等へ出かけている
- ・ 一人ひとりの希望に応じて家事等のお手伝いをお願いしている
- ・ 体調や好みに応じてスクワット運動やその他の運動の実施や HDD の歌視聴を楽しんでもらっている
- ・ 親しみを持った中にも相手を尊重した言葉かけを心がけている
- ・ 全居室内にトイレ、洗面所が設置されている

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

いこいの里は、美しい大村湾の眺めを一望できる絶好のロケーションに立地する二階建て 2 ユニットのグループホームです。各居室にはトイレと洗面台が備え付けられておりプライバシーに配慮した快適な住環境を提供しています。

ホームの目標は、「みんなが和気藹々と仲良く生活する」とされており、利用者が毎日笑顔で過ごせるように心掛けながらの支援が行われています。また、利用者だけではなく、職員も毎日を楽しく過ごせる事がより良い介護につながるとの施設長の考えから、会議で出た意見やアイデアを積極的に採り入れ、何でも相談しやすい雰囲気作りを大切にされるなど、働きやすい環境整備に努められています。

(別紙2-2)

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念である「尊厳ある生活の重視」を職員共々共有し、慣れ親しんだ地域で穏やかに過ごして頂けるよう努めている	毎日の朝礼時の理念の唱和により、職員への浸透が図られています。また、理念について、ミーティングで話し合い、日々のケアに反映させるよう努められています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の祭りや老人会、子供会の行事等に参加したり、夏にはバーベキューを開き御家族、近隣の人々を招きふれあいの場を作っている	町内会の話し合いや清掃活動にも参加されています。地域との共生を目指し町内の行事の手伝いをしたり催し物に利用者と参加したりされています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	推進会議に地域の民生委員、総代さんにも参加して頂き状況を伝えたり、一緒に考えてもらって意見を聞いたりしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回会議を開き、近況、外部評価の結果等を伝え意見聞き、指摘された点は改善に努めている	会議には、利用者・家族・市町村担当者・民生委員などの参加が見られ、ヒヤリハットなどの報告の他、レクリエーションなどを見てもらう機会も設けられています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	代表者は密に役場へ出向き相談報告を行っている 推進会議にも出席して頂いている	用件に応じて役場を訪問したり、電話したりと担当者とは随時連絡を取るようになっています。何かあった時はその都度に報告・相談を行い助言を得られています。	

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>セミナー等で学んだ事等をスタッフ同士又会議の時に話し合い、拘束のないケアに取り組んでケアに</p>	<p>外部研修の他、内部でも勉強会を行い、事例を用いながらの意見交換も行われています。状況により安全を優先する場合は、家族に説明を行い同意も得られています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体的な虐待だけでなく、声かけ、無視等の精神的虐待も行わないよう職員同志意識を持ち防止をしている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在は活用できていないが、活用できるよう勉強していきたい</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>施設長、管理者、計画作成担当者が契約時等に説明している</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>推進会議や面会、訪問時等に意見や要望等を伺いながら運営につなげている</p>	<p>意見箱の設置など家族等が意見を出しやすいように配慮され、面会時などには会話を通じて要望など引き出せるように心掛けられており、意見や要望は運営に反映させています。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日頃からスタッフの意見を聞き、定期的に関くスタッフ会議でも活発な意見交換を行っている</p>	<p>スタッフ会議には代表も出席され、職員の意見に耳を傾け、可能な場合はすぐ取り入れるようにされています。</p>	

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>正月出勤手当をつけたり、能力に応じてボーナスを出したり年1回の昇給もある</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会等の情報を知らせ、参加を促している。実践者研修への参加も申し込んでいる。資格試験も受けるよう声かけている</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>東彼3町ケアセミナー、GH協議会等へ参加し交流を深めたりしている</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人、御家族から話を聞き取り、対処法を検討したり、不安を取り除けるよう努力している</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の要望や意見を聞いて、安心して過ごして頂けるよう努めている</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所前の生活状態を聞き、その方に合った、よりよい支援ができるよう努めている</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	尊敬の気持ちを忘れず、本人の負担にならない範囲で家事等を行ってもらっている。手伝ってもらった後は感謝の気持ち言葉かけをしている		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホーム行事に参加して頂いたり、面会時等に状況の報告を行っている		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの美容室を利用したり、知人友人の面会も自由に来られています。手紙のやり取りもして頂き、個々に応じて支援している	近所の知人や友達などが気軽に訪ねて来られています。利用者が住んでいた地域を訪問する取り組みは、利用者に喜ばれているようです。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの性格行動を把握し、声かけを行い、明るく楽しく過ごして頂けるよう努めている		
22	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	連絡があった時には相談に応じ支援に努めている		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いや希望を聞いたり、関わりの中で思いを汲み取りスタッフ間でもその思いを共有し、意向に添うよう努めている	本人の希望に沿うように努められ、日中は読書や散歩、テレビ視聴など思い思いに過ごされています。個人で新聞購読をされている方もおられます。	

24	<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活歴等を聞き取り日常生活の中で活かせるように努めている</p>		
25	<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>生活リズムや心身状態等を把握し、介護の基準にしている</p>		
26	<p>10 ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>スタッフ会議等にケアカンファレンスを行い、利用者や家族の意向を踏まえ、医療面も考慮しながら介護計画を作成している</p>	<p>家族の意向や本人の希望をよく聞いた上で、職員全員で意見を出し合いケアプランを作り上げられています。状況が変わった時は、すぐに見直しも行われています。</p>	
27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の介護記録への記入、連絡帳へのを行い情報を共有している</p>		
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>受診、買物、電話での近況報告等できる範囲で柔軟に家族の</p>		
29	<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>行事等でバンドの方々等の参加をボランティアでお願いしたりしている</p>		

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>スタッフの付き添いでかかりつけ医の定期受診を確実にしている。受診結果は記録し、電話等で家族に伝えたり、面会時に報告している</p>	<p>本人や家族の希望を最優先されています。全てのかかりつけ医との連携体制も出来ており、町外などを除いては職員による通院介助も行われています。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>異変を感じた時には看護職員へ連絡し指示をあおいだり相談したりしている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時に付き添い状態を伝えたり、面会へ行き、その時の状況を聞き、把握したりと情報交換をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医や家族と話し合いを持ち、意思の確認を行い、要望に添えるように努めている</p>	<p>ホームではまだ看取りの経験はなく、明確な体制は整っていない状況です。職員のターミナルケアについての研修や勉強会などの取り組みも課題と言えます。</p>	<p>状況の急な変化も考えられる為、具体的な看取りの体制づくりを推進し、職員への勉強会などを実施されることを期待します。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアルを作成している 定期的ではないが研修会等へも参加している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署立会いの下年2回の避難訓練 消火訓練を実施している 備蓄品も常備している</p>	<p>避難訓練の後には反省点を出し合い、災害時に生かせるように話し合われています。 ホーム内の倉庫には1週間分の食料・水・ガスボンベなどが備蓄されています。</p>	<p>地震などの自然災害を想定した訓練や、避難場所、避難経路の確認、役割分担などについても話し合われることを期待します。</p>

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として人格を尊重した言葉かけの対応を行っている。傷つけないようさりげない心配りにも努めている	利用者の自尊心を大切にされ、日中は布パンツで過ごして頂く支援に取り組まれています。共用空間で排泄を促す際には、周りに聞こえないよう声をかけるなどの配慮がうかがえます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉掛けし、見守りしながら本人の希望を確認したりと、自己決定できるよう努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れは決まっているが本人の希望によって自由にその日を過ごして頂いて		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行きつけの美容室がある方は、そこへ行かれ、服装も本人に選んでいる頂いている。行事等の時は化粧のお手伝いもしている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好み等を聞きながら、スタッフが献立を作っている調理の下準備等スタッフと共に行い、食事も会話をしながら一緒に頂いている	毎月1日はお赤飯と茶碗蒸し、冬至には南瓜料理など、伝統や風習を大切にした食事が提供され、戸外での食事の機会も設けられています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量をチェック表に記入し状況の把握を行っている。入居者に応じて刻み、ミキサー食等での対応も行っている		

42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後声かけし口腔ケアを行ってもらっている。一人では難しい方には仕上げ介助を行っている</p> <p>週に1回は義歯消毒を行っている</p>	/	/
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個別に排泄記録をつけ、排泄パターンの把握に努め、自立に向けた支援を行っている。日中はリハビリパンツも外すよう努めている</p>	<p>排泄に関する薬の種類や服用が一目で解る排泄記録シートを作成し、排泄状況の把握に努められています。排泄能力の維持に留意した支援が職員により行われています。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>個別に排便記録をつけ、水分補給、植物繊維、乳製品の摂取を心がけている</p> <p>運動も実施している</p>	/	/
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴日は決まっているが、ユニットでずらしているのが希望があれば決まっている日以外でも入浴できるように対応している</p>	<p>お風呂は午前中から夕方まで好きな時間に入浴ことができ、仲の良い利用者同士と一緒に入浴することも可能です。季節を感じて頂く為、しょうぶ湯なども提供されています。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中もホール内ソファや居室と好きな所で自由に過ごして頂いたり、休んで頂いたりしている</p>	/	/
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>受診ノートや服薬ファイルを見て理解するよう努めている</p> <p>症状の変化時にはかかりつけ医へ連絡している</p>	/	/

48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>能力に応じた家事の手伝いをお願いしたり、散歩やドライブゲーム等も取り入れ楽しんで頂けるよう努めている</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>天候をみてドライブや散歩に出かけている。希望があればご家族と相談しながら外出支援も行っている</p>	<p>みんなでマイクロバスに乗り年に数回お花見に出かけられています。桜や菖蒲、コスモスなど四季折々の花を見ながら戸外での弁当を楽しまれています。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>全員ではないがご家族とも相談しながら支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望がある時いつでも応じている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関先にソファやベンチを置き寛げる空間作りに努めている。季節に合った飾りつけをしたり写真を貼ったりして季節感を出すように</p>	<p>利用者と職員が同じテーブルを囲み食事をされています。玄関の横には直通のエレベーターが備えてあり、車椅子でも外から直接2階へ行くことが出来ません。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングソファ玄関の椅子等自由に座って雑談されたりうたた寝されたり等自由に過ごして頂いている</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れ親しんだ物を置き、安心して居心地良く過ごせるように努めている	使い慣れた家具や小物の持込みは自由です。お仏壇や本棚、テレビなど利用者夫々が居心地の良い空間を作られています。和室の希望にも対応されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室に表札を掛けたり、迷われる方には大きく名前を書いて貼ったりしている 手すりを設置したりバリアフリーにし安全に努めている		
V アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
		○	2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

(別紙2-2)

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念である「尊厳ある生活の重視」を職員共々共有し、慣れ親しんだ地域で穏やかに過ごして頂けるよう努めている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の祭りや老人会、子供会の行事等に参加したり、夏にはバーベキューを開き御家族、近隣の人々を招きふれあいの場を作っている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	推進会議に地域の民生委員、総代さんにも参加して頂き状況を伝えたり、一緒に考えてもらって意見を聞いたりしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回会議を開き、近況、外部評価の結果等を伝え意見聞き、指摘された点は改善に努めている		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	代表者は密に役場へ出向き相談報告を行っている 推進会議にも出席して頂いている		

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>セミナー等で学んだ事等をスタッフ同士又会議の時に話し合い、拘束のないケアに取り組んでケアに</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体的な虐待だけでなく、声かけ、無視等の精神的虐待も行わないよう職員同志意識を持ち防止をしている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在は活用できていないが、活用できるよう勉強していきたい</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>施設長、管理者、計画作成担当者が契約時等に説明している</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>推進会議や面会、訪問時等に意見や要望等を伺いながら運営につなげている</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日頃からスタッフの意見を聞き、定期的に関くスタッフ会議でも活発な意見交換を行っている</p>		

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>正月出勤手当をつけたり、能力に応じてボーナスを出したり年1回の昇給もある</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会等の情報を知らせ、参加を促している。実践者研修への参加も申し込んでいる。資格試験も受けるよう声かけしている</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>東彼3町ケアセミナー、GH協議会等へ参加し交流を深めたりしている</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人、御家族から話を聞き取り、対処法を検討したり、不安を取り除けるよう努力している</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の要望や意見を聞いて、安心して過ごして頂けるよう努めている</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所前の生活状態を聞き、その方に合った、よりよい支援ができるよう努めている</p>		

18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	尊敬の気持ちを忘れず、本人の負担にならない範囲で家事等を行ってもらっている。手伝ってもらった後は感謝の気持ち言葉かけをしている		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ホーム行事に参加して頂いたり、面会時等に状況の報告を行っている		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの美容室を利用したり、知人友人の面会も自由に来られています。手紙のやり取りもして頂き、個々に応じて支援している		
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの性格行動を把握し、声かけを行い、明るく楽しく過ごして頂けるよう努めている		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	連絡があった時には相談に応じ支援に努めている		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いや希望を聞いたり、関わりの中で思いを汲み取りスタッフ間でもその思いを共有し、意向に添うよう努めている		

24	<p>○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>生活歴等を聞き取り日常生活の中で活かせるように努めている</p>			
25	<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>生活リズムや心身状態等を把握し、介護の基準にしている</p>			
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>スタッフ会議等にケアカンファレンスを行い、利用者や家族の意向を踏まえ、医療面も考慮しながら介護計画を作成している</p>		
27	<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の介護記録への記入、連絡帳へのを行い情報を共有している</p>			
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>受診、買物、電話での近況報告等できる範囲で柔軟に家族の</p>			
29	<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>行事等でバンドの方々等の参加をボランティアでお願いしたりしている</p>			

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>スタッフの付き添いでかかりつけ医の定期受診を確実にしている。受診結果は記録し、電話等で家族に伝えたり、面会時に報告している</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>異変を感じた時には看護職員へ連絡し指示をあおいだり相談したりしている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時に付き添い状態を伝えたり、面会へ行き、その時の状況を聞き、把握したりと情報交換をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医や家族と話し合いを持ち、意思の確認を行い、要望に添えるように努めている</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアルを作成している 定期的ではないが研修会等へも参加している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署立会いの下年2回の避難訓練 消火訓練を実施している 備蓄品も常備している</p>		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として人格を尊重した言葉かけの対応を行っている。傷つけないようさりげない心配りにも努めている
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉掛けし、見守りしながら本人の希望を確認したりと、自己決定できるよう努めている
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れは決まっているが本人の希望によって自由にその日を過ごして頂いてい
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行きつけの美容室がある方は、そこへ行かれ、服装も本人に選んでいる頂いている。行事等の時は化粧のお手伝いもしている
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好み等を聞きながら、スタッフが献立を作っている調理の下準備等スタッフと共に行い、食事も会話をしながら一緒に頂いている
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量をチェック表に記入し状況の把握を行っている。入居者に応じて刻み、ミキサー食等での対応も行っている

42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後声かけし口腔ケアを行ってもらっている。一人では難しい方には仕上げ介助を行っている</p> <p>週に1回は義歯消毒を行っている</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個別に排泄記録をつけ、排泄パターンの把握に努め、自立に向けた支援を行っている。日中はリハビリパンツも外すよう努めている</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>個別に排便記録をつけ、水分補給、植物繊維、乳製品の摂取を心がけている</p> <p>運動も実施している</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴日は決まっているが、ユニットでずらしているのが希望があれば決まっている日以外でも入浴できるように対応している</p>		
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中もホール内ソファや居室と好きな所で自由に過ごして頂いたり、休んで頂いたりしている</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>受診ノートや服薬ファイルを見て理解するよう努めている</p> <p>症状の変化時にはかかりつけ医へ連絡している</p>		

48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>能力に応じた家事の手伝いをお願いしたり、散歩やドライブゲーム等も取り入れ楽しんで頂けるよう努めている</p>		
49	<p>18 ○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>天候をみてドライブや散歩に出かけている。希望があればご家族と相談しながら外出支援も行っている</p>		
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>全員ではないがご家族とも相談しながら支援している</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望がある時はいつでも応じている</p>		
52	<p>19 ○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関先にソファやベンチを置き寛げる空間作りに努めている。季節に合った飾りつけをしたり写真を貼ったりして季節感を出すように</p>		
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングソファ玄関の椅子等自由に座って雑談されたりうたた寝されたり等自由に過ごして頂いている</p>		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れ親しんだ物を置き、安心して居心地良く過ごせるように努めている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室に表札を掛けたり、迷われる方には大きく名前を書いて貼ったりしている 手すりを設置したりバリアフリーにし安全に努めている		
V アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
		○	2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない